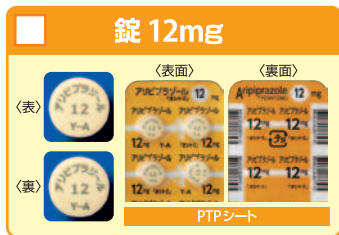
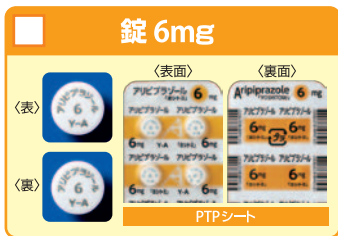
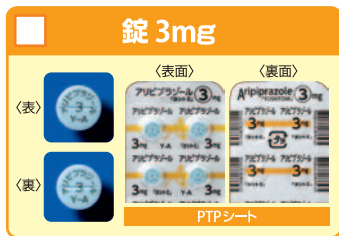


アリピプラゾール錠・OD錠・散「ヨシトミ」を お飲みになる患者さんとそのご家族の方へ

アリピプラゾール「ヨシトミ」は、統合失調症の治療に用いられます。このおくすりは、脳内の神経伝達物質であるドパミンのバランスを整えることにより、幻覚・妄想などの症状を抑え、不安定な精神状態を安定させるとともに、やる気がしない、何も興味が持てないといった症状を改善させます。

このおくすりは、体調が良くなったと自己判断して服用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。



おくすりの種類、飲み方と量

◆このおくすりには3mg・6mg・12mgの3種類の錠剤と1%の散剤、水なしでも飲める3mg・6mg・12mg・24mgの4種類のOD錠があります。

◆飲む量は、患者さんの症状にあわせて医師が決めますので、指示のとおり飲んでください。

◆通常、1日 回

錠剤の場合 1回 錠をお飲みください。

散剤の場合 1回 mgをお飲みください。

◆飲み方

① 飲むときはコップ1杯程度の水またはぬるま湯と一緒に飲んでください。

② 飲み忘れた場合は、気がついた時に、すぐに1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は、その時は飲まないで、次の飲む時間に1回分を飲んでください。

絶対に2回分を一度に飲まないでください。

③ 誤って多く飲んだ場合は、医師または薬剤師に相談してください。

④ 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。



このおくすりを服用中に 気をつけなければならないこと

◆アリピプラゾール錠・OD錠・散「ヨシトミ」を服用する際は以下のような副作用があらわれることがあります。このような症状が認められた場合には、主治医にご相談ください。

①高血糖や低血糖があらわれることがあります

高血糖の症状（激しい喉の渇き、水やジュースをたくさん飲む、尿の量が多い、尿の回数が多いなど）や低血糖の症状（脱力感、倦怠感、冷や汗、手足の震え、うとうとする、意識が薄れるなど）があらわれたら、ただちに受診してください。

②衝動が抑えられない状態があらわれることがあります

社会的に不利な結果を招くにもかかわらず、ギャンブルや過剰で無計画な買い物を繰り返したり、性欲や食欲が病的に亢進するなど、衝動が抑えられない状態があらわれることがあります。このような症状があらわれたら、医師に相談してください。



おくすりを飲むときに注意すること

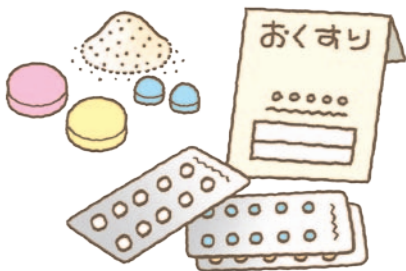
- ◆ おくすりはPTPシートから取り出してお飲みください。
- ◆ 次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。
 - 以前におくすりを使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
 - 糖尿病またはその既往歴や家族歴がある、肝障害、心・血管疾患、低血圧、てんかんなどの痙攣性疾患またはその既往歴がある、自殺を図ったまたは思いめぐらせている。
 - 妊娠中、妊娠している可能性がある、授乳中。
 - 他におくすりなどを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたり、または副作用が出たりすることがあります）。
- ◆ 多く使用した時（過量使用時）の対応
 - 嗜眠（睡眠を続け、強い刺激を与えなければ目覚めて反応しない状態）、ぼんやりする、血圧の上昇、脈が早くなる、嘔吐（おうと）など、また小児において、一過性の意識消失、ぼんやりするなどの症状があらわれることがあります。これらの症状が同じような時期にあらわれた場合は、すぐに受診してください。

◆生活上の注意

- 眠気、注意力、集中力、反射運動能力などの低下が起ることがありますので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作はしないでください。
- アルコール（飲酒）は、おくすりの作用を強めることがありますので、アルコール（飲酒）は避けてください。

◆保管上の注意

- 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- おくすりが残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については、受け取った薬局や医療機関に相談してください。



このおくすりを使ったあと気をつけてください

- ◆主な副作用として、不眠、神経過敏、アカシジア（じっとしていることができない）、振戦（手足の震え）、不安、体重減少、筋強剛、食欲不振、食欲亢進、倦怠感、傾眠、寡動（表情の動きが少ない）、流涎（よだれが出る）、体重増加、吐き気、嘔吐、ジストニア（筋緊張異常）、便秘などが報告されています。

このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

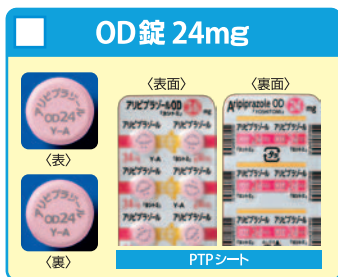
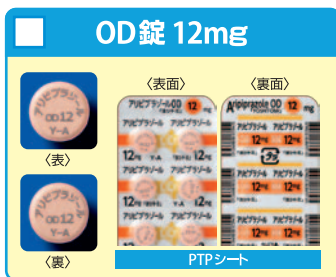
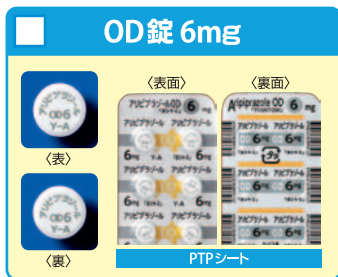
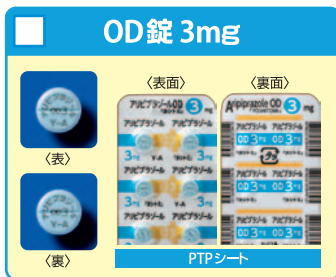


くこと（副作用）

◆まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。
このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- 口が渇く、よく水を飲む、尿が多く出る
[糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡]
- 動かずだまっている、筋肉のこわばり、急激な発熱
[悪性症候群]
- 舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず噛むような口の動き [遅発性ジスキネジア]
- 吐き気・嘔吐、便がでない、激しい腹痛
[麻痺性イレウス]
- 脱力感、筋肉の痛み、赤褐色尿 [横紋筋融解症]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。
上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。



OD錠は、口の中で溶けやすく、水なしでも飲むことができます。
ただし、寝たままの状態では、水なしで服用しないでください。

医療機関・薬局名